平成23年3月期　第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月9日

上 場 会 社 名	東鉄工業　株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	1835	URL	http://www.totetsu.co.jp
代　　表　　者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名)	小倉　雅彦
問合せ先責任者	(役職名) 経理部長	(氏名)	片岡　紀雄　　TEL (03)5369－7687
四半期報告書提出予定日	平成22年8月9日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1.　平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	12,884	3.8	177	△17.2	321	△6.5	207	△19.4
22年3月期第1四半期	12,412	―	214	―	343	―	257	―

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	5 82	―
22年3月期第1四半期	7 23	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	56,332	33,166	58.9	930 68
22年3月期	65,061	33,817	52.0	948 93

(参考)　自己資本　23年3月期第1四半期　33,166百万円　22年3月期　33,817百万円

2.　配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	―	―	―	16 00	16 00
23年3月期	―				
23年3月期(予想)		―	―	16 00	16 00

(注)　当四半期における配当予想の修正有無　：　無

3.　平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,900	1.2	700	△23.5	700	△34.8	350	△30.4	9.82
通期	92,900	4.8	4,900	3.6	5,100	1.8	2,900	3.1	81.38

(注)　当四半期における業績予想の修正有無　：　無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動　　：　無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更に伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　　：　有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更　　：　有

② ①以外の変更　　：　無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期1Q	36,100,000株	22年3月期	36,100,000株
② 期末自己株式数	23年3月期1Q	463,113株	22年3月期	462,660株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期1Q	35,637,280株	22年3月期1Q	35,640,306株

(注意事項)

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
2. その他の情報 …… 4
(1) 重要な子会社の異動の概要 …… 4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 4
3. 四半期連結財務諸表 …… 5
(1) 四半期連結貸借対照表 …… 5
(2) 四半期連結損益計算書 …… 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
(4) 継続企業の前提に関する注記 …… 9
(5) セグメント情報 …… 9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……10
4. 補足情報 ……11
(1) 部門別対比表 ……11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、海外経済の改善や緊急経済対策などの効果を背景に、企業収益の改善が続き、自律的な景気回復への基盤が整いつつあるとみられますが、海外景気、金融資本市場、デフレ、円高、及び雇用情勢悪化などの懸念材料も依然残っている状況です。

建設業界においては、民間設備投資や住宅建設など、民間建設投資については持ち直しの兆しが見えるものの、公共事業の減少等、当連結会計年度の政府建設投資は大幅に落ち込むことが予想され、引き続き厳しい経営環境が継続するものと見込まれます。

このような状況のなかで、当社グループは、前連結会計年度よりスタートした３ヵ年の中期経営計画の２年目を迎え、その基本方針に基づいた諸施策を推進中であります。

当第１四半期連結累計期間の業績につきましては、依然厳しい受注環境が続くなかで、鉄道関係の建築工事を中心に、売上高は前年同期比471百万円増加し、12,884百万円となりました。

売上総利益は、前連結会計年度に引き続き、不採算工事の徹底排除や原価管理の強化を図ったものの、前年同期比４百万円減少し、1,618百万円となりました。その結果、営業利益は、前年同期比37百万円減少の177百万円、経常利益は、前年同期比22百万円減少の321百万円、当四半期純利益は、資産除去債務、及び投資有価証券評価損の計上などにより、前年同期比50百万円減少の207百万円となりました。

なお、中期経営計画の詳細につきましては、次のＵＲＬからご覧いただくことができます。

(当社ホームページ)

http://www.totetsu.co.jp

(東京証券取引所ホームページ（上場会社情報検索ページ）)

http://www.tse.or.jp/listing/compsearch/index.html

セグメントの業績は、次のとおりです。なお、セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

(土木事業)

受注高は12,566百万円（前年同期比36.4％増）、売上高は8,530百万円（前年同期比2.5％減）となりました。

売上高のうち工事進行基準による計上額は5,017百万円であり、次期繰越高は27,945百万円となりました。

セグメント利益は144百万円となりました。

(建築事業)

受注高は4,956百万円（前年同期比11.9％増）、売上高は4,127百万円（前年同期比22.0％増）となりました。

売上高のうち工事進行基準による計上額は2,862百万円であり、次期繰越高は11,044百万円となりました。

セグメント利益は34百万円となりました。

(その他)

売上高は226百万円で、その主なものは不動産賃貸収入であります。

セグメント損失は３百万円となりました。

なお、各事業の詳細につきましては、補足情報をご参照ください。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末における資産合計は前年度末比8,728百万円減少し、56,332百万円となりました。主な要因は、受取手形・完成工事未収入金等の減少であります。

負債合計は、前年度末比8,077百万円減少し、23,166百万円となりました。主な要因は、支払手形・工事未払金等の減少であります。

純資産合計は、前年度末比650百万円減少し、33,166百万円となりました。

《キャッシュ・フローについて》

当第１四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前年度末比2,728百万円増加し、9,817百万円となりました。

当第１四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

売上債権の減少等により、営業活動のキャッシュ・フローは3,420百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得等により、投資活動のキャッシュ・フローは117百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払い等により、財務活動のキャッシュ・フローは574百万円の支出となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、当第１四半期連結累計期間の業績を踏まえ検討した結果、現時点では、平成22年５月13日発表の第２四半期連結累計期間及び通期の予想について変更ありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

②四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」の適用

当第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年３月31日）を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益がそれぞれ1,235千円、税金等調整前四半期純利益が47,494千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は87,095千円であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第１四半期連結会計期間末 （平成22年６月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金預金	9,817,721	7,088,959
受取手形・完成工事未収入金等	20,549,746	34,994,527
未成工事支出金等	6,882,335	3,007,989
繰延税金資産	1,012,665	1,181,819
その他	2,621,799	2,825,318
貸倒引当金	△218,399	△446,210
流動資産合計	40,665,869	48,652,404
固定資産		
有形固定資産	6,851,374	6,974,126
無形固定資産	548,481	596,310
投資その他の資産		
投資有価証券	7,774,046	8,352,190
その他	2,379,602	2,372,791
貸倒引当金	△1,886,729	△1,886,603
投資その他の資産計	8,266,919	8,838,377
固定資産合計	15,666,774	16,408,814
資産合計	56,332,644	65,061,219

（単位：千円）

	当第１四半期連結会計期間末 （平成22年６月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年３月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	15,441,963	20,503,325
未払法人税等	48,068	1,568,875
未成工事受入金	954,401	679,573
完成工事補償引当金	69,000	67,500
賞与引当金	171,249	854,307
工事損失引当金	651,301	702,908
その他	3,432,623	4,260,720
流動負債合計	20,768,607	28,637,210
固定負債		
繰延税金負債	420,802	617,469
退職給付引当金	671,640	706,422
その他	1,305,094	1,282,854
固定負債合計	2,397,537	2,606,746
負債合計	23,166,145	31,243,957
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,810,000	2,810,000
資本剰余金	2,350,369	2,350,369
利益剰余金	27,137,376	27,500,001
自己株式	△149,295	△149,042
株主資本合計	32,148,451	32,511,328
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,018,047	1,305,933
評価・換算差額等合計	1,018,047	1,305,933
純資産合計	33,166,499	33,817,261
負債純資産合計	56,332,644	65,061,219

(2) 四半期連結損益計算書

【第１四半期連結累計期間】

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成21年４月１日 至 平成21年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年６月30日）
売上高		
完成工事高	12,132,204	12,657,667
付帯事業売上高	280,412	226,608
売上高合計	12,412,617	12,884,276
売上原価		
完成工事原価	10,590,640	11,106,322
付帯事業売上原価	199,386	159,877
売上原価合計	10,790,026	11,266,199
売上総利益		
完成工事総利益	1,541,563	1,551,345
付帯事業総利益	81,026	66,731
売上総利益合計	1,622,590	1,618,076
販売費及び一般管理費	1,407,762	1,440,256
営業利益	214,827	177,820
営業外収益		
受取利息	137	757
受取配当金	101,690	100,598
持分法による投資利益	－	12,408
その他	34,738	30,083
営業外収益合計	136,566	143,849
営業外費用		
支払利息	1,212	557
持分法による投資損失	3,500	－
その他	3,316	60
営業外費用合計	8,028	618
経常利益	343,365	321,051
特別利益		
貸倒引当金戻入額	102,278	228,165
固定資産売却益	－	61
特別利益合計	102,278	228,226
特別損失		
固定資産除却損	1,421	4,448
投資有価証券評価損	－	106,779
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	46,258
ゴルフ会員権評価損	－	2,750
特別損失合計	1,421	160,236
税金等調整前四半期純利益	444,222	389,041
法人税、住民税及び事業税	22,377	15,867
法人税等調整額	164,145	165,596
法人税等合計	186,523	181,464
少数株主損益調整前四半期純利益	－	207,577
四半期純利益	257,699	207,577

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第１四半期連結累計期間 (自 平成21年４月１日 至 平成21年６月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自 平成22年４月１日 至 平成22年６月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	444,222	389,041
減価償却費	269,162	242,954
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△102,278	△227,685
賞与引当金の増減額（△は減少）	△686,631	△683,058
受取利息及び受取配当金	△101,828	△101,356
支払利息	1,212	557
売上債権の増減額（△は増加）	12,605,162	14,444,781
未成工事支出金等の増減額（△は増加）	△4,391,675	△3,874,345
仕入債務の増減額（△は減少）	△5,725,162	△5,060,024
未成工事受入金の増減額（△は減少）	302,062	280,520
その他	△1,059,893	△625,318
小計	1,554,352	4,786,068
利息及び配当金の受取額	105,904	104,584
利息の支払額	△1,212	△77
法人税等の支払額	△1,323,403	△1,469,774
営業活動によるキャッシュ・フロー	335,641	3,420,801
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△647,640	△96,415
有形固定資産の売却による収入	557,944	2,518
その他	△30,597	△23,394
投資活動によるキャッシュ・フロー	△120,293	△117,291
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△6,987	△4,293
自己株式の取得による支出	△740	△252
配当金の支払額	△498,978	△570,201
財務活動によるキャッシュ・フロー	△506,706	△574,747
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△291,357	2,728,762
現金及び現金同等物の期首残高	4,863,102	7,088,959
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,571,744	9,817,721

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第１四半期連結累計期間(自　平成21年４月１日　至　平成21年６月30日)

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占める建設事業の割合が、いずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第１四半期連結累計期間(自　平成21年４月１日　至　平成21年６月30日)

在外連結子会社及び在外支店がないため、記載しておりません。

【海外売上高】

前第１四半期連結累計期間(自　平成21年４月１日　至　平成21年６月30日)

海外売上高がないため、記載しておりません。

【セグメント情報】

(追加情報)

当第１四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号　平成21年３月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号　平成20年３月21日)を適用しております。

１ 報告セグメントの概要

当社グループの事業セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源配分の決定及び業績評価を行うために、定期的に検討が可能な単位としております。

当社グループは、「土木事業」及び「建築事業」を報告セグメントとしております。

「土木事業」は、土木工事全般に関する、企画、設計、施工、監理等の事業を行なっております。

「建築事業」は、建築工事全般に関する、企画、設計、施工、監理等の事業を行なっております。

２ 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第１四半期連結累計期間(自　平成22年４月１日　至　平成22年６月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他(注１)	合計	調整額(注２)	四半期連結損益計算書計上額(注３)
	土木事業	建築事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,530,574	4,127,092	12,657,667	226,608	12,884,276	―	12,884,276
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	5,469	5,469	52,302	57,771	△ 57,771	―
計	8,530,574	4,132,562	12,663,137	278,911	12,942,048	△ 57,771	12,884,276
セグメント利益又は損失(△)	144,952	34,638	179,590	△ 3,179	176,411	1,409	177,820

(注) １　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業並びに水処理事業を始めとした環境事業等を含んでおります。

２　セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

３　セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません

4. 補足情報

(1) 部門別対比表

【 受注高 】

(百万円未満切捨て)

区分		前四半期連結累計期間	構成比		当四半期連結累計期間	構成比
		百万円			百万円	
土木		9,211	67.5%		12,566	71.7%
建築		4,428	32.5%		4,956	28.3%
計		13,639	100.0%		17,523	100.0%
官公庁		218	1.6%		262	1.5%
	鉄道	93	0.7%	鉄道	57	0.3%
	一般	124	0.9%	一般	205	1.2%
民間		13,420	98.4%		17,260	98.5%
	鉄道	10,355	75.9%	鉄道	15,931	90.9%
	一般	3,065	22.5%	一般	1,329	7.6%
合計		13,639	100.0%		17,523	100.0%
	鉄道	10,449	76.6%	鉄道	15,988	91.2%
	一般	3,190	23.4%	一般	1,534	8.8%

【 売上高 】

(百万円未満切捨て)

区分		前四半期連結累計期間	構成比		当四半期連結累計期間	構成比
完成工事高		百万円			百万円	
土木		8,749	72.1%		8,530	67.4%
建築		3,383	27.9%		4,127	32.6%
計		12,132	100.0%		12,657	100.0%
官公庁		745	6.2%		779	6.2%
	鉄道	35	0.3%	鉄道	83	0.7%
	一般	709	5.9%	一般	695	5.5%
民間		11,386	93.8%		11,878	93.8%
	鉄道	8,786	72.4%	鉄道	9,755	77.0%
	一般	2,600	21.4%	一般	2,123	16.8%
合計		12,132	100.0%		12,657	100.0%
	鉄道	8,822	72.7%	鉄道	9,838	77.7%
	一般	3,310	27.3%	一般	2,819	22.3%
付帯事業売上高		280	―		226	―
売上高合計		12,412	―		12,884	―

【 繰越高 】

(百万円未満切捨て)

区分		前四半期連結会計期間	構成比		当四半期連結会計期間	構成比
		百万円			百万円	
土木		26,081	68.3%		27,945	71.7%
建築		12,088	31.7%		11,044	28.3%
計		38,169	100.0%		38,989	100.0%
官公庁		3,525	9.3%		6,143	15.8%
	鉄道	1,365	3.6%	鉄道	1,086	2.8%
	一般	2,160	5.7%	一般	5,056	13.0%
民間		34,644	90.7%		32,845	84.2%
	鉄道	26,357	69.0%	鉄道	28,887	74.1%
	一般	8,286	21.7%	一般	3,958	10.1%
合計		38,169	100.0%		38,989	100.0%
	鉄道	27,722	72.6%	鉄道	29,973	76.9%
	一般	10,446	27.4%	一般	9,015	23.1%